

航空業における労働災害発生状況（1999-2022年）

航空業 コードNo.040103

航空業における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	10	10	12	21	12	9	11	21	12	6	8	10	9	12	9	12	13	9	14	19	6	5	9	18	277
転倒	15	24	16	17	21	15	20	15	14	11	18	14	11	22	20	22	23	29	23	28	25	12	16	16	447
激突	14	21	37	7	7	15	14	10	23	12	7	14	5	2	22	13	9	26	20	17	23	5	14	18	355
飛来・落下	2	1	10	11	6	8	9	5	7	3	3	2	3	12	3	10	8	5	5	11	9	1	4	7	145
崩壊・倒壊	3			2	2	1	3	1	2	1	1	1	1			2	3	2		1	1				27
激突され	14	21	9	10	10	10	3	8	7	12	1	18	10	7	5	48	48	7	10	13	13	3	9	16	312











溶接装置													1											1	
炉、釜等															1	1	2		1					5	
電気設備				1									1						1		1			4	
人力機械工具等	6	6	4	8	8	12	15	7	9	7	1	3	4	3	3	8	5	5	4	12	4	4	2	3	143
用具	4	11	11	7	4	6	9	3	8	5	7	8	3	6	2	13	10	4	8	13	4	1	6	5	158
その他の装置、設備	5	19	9	13	8	6	1	3	10	8	11	5	1	15	5	6	6	8	16	15	8	1	6	14	199
仮設物、建築物等	15	14	10	17	19	11	18	25	21	14	14	17	4	19	21	30	25	31	30	19	39	19	17	29	478
危険物、有害物等	1			1			1	1	4	2			1						3	1				1	16
材料	2	1	2	2	1	1		2	1	1			1	5		2	1	2		1	1	1	1		28





















具																									
その他 の用具			7		1		6	3	6		5	6	3	2	1	9	9	4	4	6	2	1	3	2	80
その他 の装 置、設 備			9		8		1	3	10	8	11	5	1	15	5	6	6	8	16	15	8	1	6	14	156
足場					1				1	1							1							4	
支保工																									
階段、 栈橋			3		6		4	10	3	7	7	7	1	4	6	8	8	8	9	3	3	4	3	8	112
開口部					2																				2
屋根、 はり、 もや、 けた、 合掌																									
作業 床、歩 み板			1		1		1	2			2	1		2	3	1	3	1	7	1	5	1		2	34
通路			3		6		9	9	11	5	3	5	1	8	11	14	6	11	7	11	7	2	9	14	152

建築物、構築物			1				3	1	3		1	3		2		2	4	3	3	1	1	1	3	1	33	
その他の仮設物、建築物、構築物等			2		3		1	3	3	1	1	1		2	3	1	5	3	8	4	3	23	11	2	4	84
爆発性の物等																										
引火性の物																										
可燃性のガス																										
有害物																										
放射線																										
その他の危険物、有害物等							1	1	4	2				1						3	1				1	14



低温環境												1				2	1	3		2			2	11	
その他の環境等			6		7		6	1	15	11	2		2	2		3		6	4		8	2		7	82
その他の起因物			8		13		10	7	2	4	11	11	5	2	8	10	2	9	5	7	1		19		134
起因物なし			17		24		20	7	5	14	6	5	4	9	17	17	9	12	17	14	12	16	5	26	256
分類不能			8		7		8	1	2			1		6	2			1		1			1		38
合計	124	158	163	222	181	248	235	205	285	184	154	159	116	202	161	211	194	226	246	251	213	91	113	183	4,525

航空業における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
19歳以下		2	1	1				1			1					2	1		3			1		1	14
20歳-29歳	62	74	64	82	79	81	82	68	70	52	38	51	25	50	50	66	71	91	98	116	97	33	59	75	1,634

30歳-39歳	28	36	44	78	56	99	91	84	126	76	55	58	64	82	61	59	50	55	63	51	47	22	24	41	1,450
40歳-49歳	21	28	36	40	27	41	32	22	53	34	37	32	18	50	34	59	43	44	39	49	40	15	10	28	832
50歳-59歳	13	16	17	18	18	27	29	26	34	21	21	14	9	16	15	22	23	32	35	24	22	16	16	30	514
60歳以上		2	1	3	1		1	4	2	1	2	4		4	1	3	6	4	8	11	7	4	4	8	81
合計	124	158	163	222	181	248	235	205	285	184	154	159	116	202	161	211	194	226	246	251	213	91	113	183	4,525

航空業における労働者規模別労働災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下	4	1	2	3	12	6	2	5	4	1		5	2	4	1	5	2	4	10	5	3	2	2	11	96
10人-29人	2	3	5	11	1	5	4	4	2	3	4	5	5	3	2	4	3		3	3	2	1	5	2	82
30人-	1		5	3	1	4	2	3	2	1	1	1	4	1	3	1	7	7	8	1	2		3	4	65









大分	1								1														1	3	
宮崎		1			2		3	1		1					1					1	1				11
鹿児島	1	5	2		3		2	5	3		2	3	1	1	6	1	3	3	7	7	3	4	3	3	68
沖縄	2	3	1				2	3	14	13	16	9	9	4	4	6	6	8	5	6	1	4	1	10	127
合計	124	158	163	222	181	248	235	205	285	184	154	159	116	202	161	211	194	226	246	251	213	91	113	183	4,525

休業4日以上の労働災害（職業性疾病を含む。）を計上。2022年のデータは新型コロナ罹患を含まない。2021年、2020年のデータは新型コロナ罹患を含む。2011年のデータは東日本大震災による労働災害を含む。

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.html)に戻る。

=====  
航空業における死亡災害発生状況（1999-2022年）

航空業 コード No.040103

航空業における事故の型別死亡災害発生状況（1999-2022年）

事故の	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	---











































300人以上	3		3								1					1	1						9	
合計	4	3	5	2	4	8			5	2		5	1				3	1	6	2				51

航空業における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

月	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
1月						2																			2	
2月																	1									1
3月	1	1	1		2	2											2									9
4月					1				1																	2
5月	1		3																							4
6月						1			1										1							3
7月	1			2						2		3						1								9
8月			1																	2						3
9月		2										2														4
10月	1				1				1				1													4
11月									2										4							6
12月						3													1							4
合計	4	3	5	2	4	8			5	2		5	1				3	1	6	2					51	





山口																								
徳島																								
香川																								
愛媛																								
高知																								
福岡																								
佐賀					3																		3	
長崎																								
熊本																								
大分	1																						1	
宮崎																								
鹿児島																	1						1	
沖縄																								
合計	4	3	5	2	4	8			5	2		5	1			3	1	6	2				51	

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

航空業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故 の型	労働 者規 模
2018	8	10 ～ 11	県境で開通予定の登山道視察のため、計9名がヘリコプターに搭乗して飛行中、何らかの原因で山中に墜落したもの。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2018	8	10 ～ 11	県境で開通予定の登山道視察のため、計9名がヘリコプターに搭乗して飛行中、何らかの原因で山中に墜落したもの。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2017	6	14 ～ 15	被災者は、小型飛行機（機体は当該事業場が所有）に、教官（アドバイザー）兼コパイロットとして搭乗していた。同飛行機には、被災者、操縦者（非労働者）、ほか2名（非労働者）の計4名が乗っていた。災害発生日、同飛行機がA空港からB空港まで飛行した後、B空港を離陸してA空港まで戻る際に、山中に墜落した。翌日、4名の死亡が確認された。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2017	11	14 ～	ヘリコプターによる建設資機材の運搬業務を終え、同機で移動する途中、何らかの原因で橋上に墜落し、機体が大破、炎上して死亡した。なお、当該被災者のほか搭乗していた操縦士1名、整備士2名も死亡した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	10～ 29

		15			の 他)	
2017	11	14 ～ 15	ヘリコプターによる建設資機材の運搬業務を終え、同機で移動する途中、何らかの原因で橋上に墜落し、機体が大破、炎上して死亡した。なお、当該被災者のほか搭乗していた操縦士1名、整備士2名も死亡した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	50～ 99
2017	11	14 ～ 15	ヘリコプターによる建設資機材の運搬業務を終え、同機で移動する途中、何らかの原因で橋上に墜落し、機体が大破、炎上して死亡した。なお、当該被災者のほか搭乗していた操縦士1名、整備士2名も死亡した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	50～ 99
2017	11	14 ～ 15	ヘリコプターによる建設資機材の運搬業務を終え、同機で移動する途中、何らかの原因で橋上に墜落し、機体が大破、炎上して死亡した。なお、当該被災者のほか搭乗していた操縦士1名、整備士2名も死亡した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	50～ 99
2017	12	12 ～ 13	航空機の尾翼等整備のため、格納庫奥に保管されていた機体をトーイングトラクターで牽引する際、一旦格納庫外へ前進移動させた後、後退させ格納庫内の作業位置へ移動させる作業を行っていたところ、突然左翼下にある車輪が格納され、機体が傾き、左翼が地面に接触した。その際、左翼の真下にいた被災者が下敷きになり被災した。	その他 の乗物	激突 され	300 ～ 499
		9	整備作業として、登山道の路肩の崩壊防止用の丸太を交換するために杭打ち作業をしていたところ、登山道から片足を	地山、	墜	1000

2016	7	～	法面に下ろしハンマーで杭を打っていた被災者が、姿勢を崩し、約50m下まで滑落し、頭部を強打したことにより死亡した。	岩石	落・ 転落	～ 9999
2015	2	17 ～ 18	航空機の油圧系装置を整備していたところ、高さ約2.6mの作業床の端から墜落したものの。	作業 床、歩 み板	墜 落・ 転落	100 ～ 299
2015	3	10 ～ 11	ヘリコプターを使用し資材の運搬を行い、当該資材の荷下ろし完了後、燃料補給のため場外離着陸場に移動を開始したところ、送電線に接触し墜落炎上した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	30～ 49
2015	3	10 ～ 11	発電所の配電撤去工事において、ヘリコプターにて撤去資材を運送する業務を行っていたところ、作業開始から発電所と荷卸し場を3往復した後、給油のためにヘリポートに向かう途中、高さ約300メートルの位置にあった送電線に接触して墜落、乗員2名が死亡したものの。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	30～ 49
2011	10	12 ～ 13	災害発生当日被災者2名が乗ったヘリコプターは、山中の登山道整備工事で使用する資材輸送のため、飛行場を離陸し、山中に設けられた作業用ヘリポートに向かった。当日は、13個の資材を輸送する予定であり、10個目の資材の輸送を終え、作業用ヘリポートに帰投途中、機体後部に異変が生じ、機体のバランスが崩れまもなく墜落したものの。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	50～ 99
					交通	

2010	9	7 8	被災者はヘリコプターで山中の橋の基礎部の補強工事に使う資材や機材の運搬の為、資材置き場と現場を往復していたが、現場に霧がかかっていたために資材を降ろさず、資材置き場に戻る途中に墜落したもの。災害発生時、資材（自然石、2.4 t）はワイヤーロープを用いてヘリコプターから吊り下げられていた。	その他 の乗物	事故 （そ の 他）	50～ 99
2010	9	7 8	登山道の歩道橋の橋脚補強工事で使用するための麻袋に入れた砕石材約2.4 tをワイヤーで吊し、ヘリコプターで輸送中、山林に墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 （そ の 他）	100 ～ 299
2010	7	10 11	パイロット及びカメラマンの被災者2名は、航空写真撮影のため小型飛行機に乗り、目的地に向けて飛行中、レーダーから機影が消えて行方不明となった。2日後に山中に墜落しているのを発見され、2名は収容されたが病院で死亡が確認された。事故当時は濃霧注意報が発令されており、視界不良が一因である。	その他 の乗物	交通 事故 （そ の 他）	300 ～ 499
2010	7	11 12	山中にて山岳遭難救助中、何らかの理由によりヘリコプターが墜落し、搭乗者2名が死亡したもの。なお、本件における死亡者は5名であり、うち3名は消防署隊員であったもの。運輸安全委員会にて調査中。	その他 の乗物	交通 事故 （そ の 他）	50～ 99
2010	7	11	山中にて山岳遭難救助中、何らかの理由によりヘリコプターが墜落し、搭乗者2名が死亡したもの。なお、本件における死亡者は5名であり、うち3名は消防署隊員であったもの。運輸安全委員会にて調査中。	その他	交通 事故 （そ	50～

		12	る死亡者は5名であり、うち3名は消防署隊員であったもの。運輸安全委員会にて調査中。	の乗物	の 他)	99
2008	7	11 ～ 12	海上での事故の取材のため、操縦士を含む4名が搭乗してヘリコプターにて飛行中に海上で消息不明となった。なお、後日被災者の遺体が発見された。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2008	7	11 ～ 12	海上での事故の取材のため、操縦士を含む4名が搭乗してヘリコプターにて飛行中に海上で消息不明となった。なお、後日被災者の遺体が発見された。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2007	4	16 ～ 17	山小屋付近において、ヘリコプターによる人員輸送を実施中、悪天候により被災者操縦のヘリコプターが墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	10～ 29
2007	11	11 ～ 12	航空測量写真撮影を行っていた際、墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の の	1～9

					他)	
2007	11	11 ～ 12	航空測量写真撮影を行っていた際、墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2007	10	15 ～ 16	航空機の操縦免許取得希望者を対象とする体験飛行で、2人乗りヘリコプターに希望者1名を乗せて同機を操縦していたところ、墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	10～ 29
2007	6	15 ～ 16	山の緑化作業として、ヘリコプターで樹木の種子と栄養剤を散布する作業を行っていた。ヘリコプターは臨時ヘリポートから離陸し、5分ほどで戻る予定だったが連絡が取れなくなったため搜索したところ、ヘリポートから北に約1.5 km離れた山林に墜落しているのが発見された。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	30～ 49
2004	12	21 ～ 22	ヘリコプターによる遊覧飛行を終了し空港へ帰る途中に海の沖合に墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	10～ 29

2004	12	21 ～ 22	ヘリコプターによる遊覧飛行を終了し空港へ帰る途中に海の沖合に墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	10～ 29
2004	12	21 ～ 22	ヘリコプターによる遊覧飛行を終了し空港へ帰る途中に海の沖合に墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	10～ 29
2004	3	9 ～ 10	国道で発生した道路交通事故を上空から取材中のヘリコプターが、送電線に接触し約150m墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2004	3	9 ～ 10	国道で発生した道路交通事故を上空から取材中のヘリコプターが、送電線に接触し約150m墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9
		10			交通 事故	

2004	1	11	被災者3名が小型飛行機に乗り込み、航空記念写真を撮影した後、次の撮影場所に向かおうと上空を旋回中に失速し、電線を切断しながら墜落し地上に激突した。	その他 の乗物	(そ の 他)	30～ 49
2004	1	10 ～ 11	被災者3名が小型飛行機に乗り込み、航空記念写真を撮影した後、次の撮影場所に向かおうと上空を旋回中に失速し、電線を切断しながら墜落し地上に激突した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	30～ 49
2004	6	11 ～ 12	ヘリコプターが空港に着陸する際に同空港敷地内に墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	10～ 29
2003	10	17 ～ 18	空港において、航空機の貨物室にハイリフトローダーと呼ばれるワンマンコントロールのコンテナ運搬車で荷を積み込んでいるときに、コンテナとコンテナの間にはさまれた。	その他 の動力 運搬機	はさ まれ 巻き 込ま れ	100 ～ 299
2003	4	18 ～ 19	ヘリコプターによる発電用燃料の搬送作業を終えて広場に着陸し、エンジンに付着した塩分を除去する作業を行っていたところ、強風が吹いたためヘリコプターが横転し、作業中の1人がメインローターに接触して50mほど飛ばされた。	その他 の乗物	激突 され	10～ 29

2003	3	10 ～ 11	米国製双発プロペラ機の整備状況を確認するため、1時間45分の予定で飛行場を離陸しテストフライトを行っていたところ、離陸後約20分後に山林に墜落した。	その他 の乗物 の 他)	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2003	3	10 ～ 11	米国製双発プロペラ機の整備状況を確認するため、1時間45分の予定で飛行場を離陸しテストフライトを行っていたところ、離陸後約20分後に山林に墜落した。	その他 の乗物 の 他)	交通 事故 (そ の 他)	1～9
2002	7	21 ～ 22	航空機の修理のため空港内駐機場に駐機し、横付けしたカーゴローダーに設けられた幅74cmの補助プラットホーム上を 通って貨物庫内に入ろうとしたところ、補助プラットホームを固定する門が外れていたため足がかりを失って約2.8m 下の地上に墜落した。	ロー ダー	墜 落・ 転落	100 ～ 299
2002	7	15 ～ 16	個人所有のヘリコプターのエンジン始動が悪いとの連絡を受け2人で故障探求をしたところ、バッテリーが弱いことが 判明したのでバッテリー交換のため、整備工場へヘリコプターで飛び着陸直前に墜落炎上し2人が死亡した。	その他 の乗物 の 他)	交通 事故 (そ の 他)	30～ 49
2001	8	9 ～	セスナ機で航空写真を撮影するため、自営カメラマン2名を乗せて飛行中、何らかのトラブルにより水田に墜落して機 体が炎上し3名全員が死亡した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	1～9

		10			の 他)	
2001	5	11 ～ 12	上空約200mで訓練飛行中のヘリコプターとセスナ機が接触して、2機とも墜落し、搭乗していた6名全員が死亡した。 (6名のうち他は訓練生労働者は3名)	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	300 ～ 499
2001	5	11 ～ 12	上空約200mで訓練飛行中のヘリコプターとセスナ機が接触して、2機とも墜落し、搭乗していた6名全員が死亡した。 (6名のうち他は訓練生労働者は3名)	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	300 ～ 499
2001	5	11 ～ 12	上空約200mで訓練飛行中のヘリコプターとセスナ機が接触して、2機とも墜落し、搭乗していた6名全員が死亡した。 (6名のうち他は訓練生労働者は3名)	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	300 ～ 499
2001	3	13 ～ 14	顧客の操縦するパイパー式単発飛行機に同乗して飛行中、山の斜面に衝突した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	50～ 99

2000	9	8 ～ 9	遊歩道の補修工事において、ヘリポートに陸送された工事資材(石材、砂利)を現場まで空輸してヘリポートへ帰って来たときに降下速度が速かったため、ヘリポート手前の林に衝突してバウンドしたのち、一旦約10～15mの高さに上昇したところでテールブームが折損し、その後2回程度左に旋回して墜落し炎上した。	その他 の動力 運搬機 の 他)	交通 事故 (そ の 他)	100 ～ 299
2000	9	8 ～ 9	遊歩道の補修工事において、ヘリポートに陸送された工事資材(石材、砂利)を現場まで空輸してヘリポートへ帰って来たときに降下速度が速かったため、ヘリポート手前の林に衝突してバウンドしたのち、一旦約10～15mの高さに上昇したところでテールブームが折損し、その後2回程度左に旋回して墜落し炎上した。	その他 の動力 運搬機 の 他)	交通 事故 (そ の 他)	100 ～ 299
2000	3	10 ～ 11	事務所建物内の掃除で、廊下でキャスターつき事務椅子に乗って転落した。	その他 の用具	墜 落・ 転落	50～ 99
1999	3	13 ～ 14	セスナ機で山腹に墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 (そ の 他)	10～ 29
1999	10	6 ～	出張中の移動をタクシーで行っていて、タクシーがスリップして道路右側へ転落したため、一人が死亡し、一人が肋骨骨折・頸椎捻挫、もう一人が鎖骨骨折・肩甲骨骨折を負った。	乗用 車、バ ス、バ	交通 事故 (道	1000 ～

		7				イク	路)	9999
1999	5	23 ～ 24	国際線出発ロビーで、乗務で駐機場に向かうため4階から3階への下りエスカレータに乗っていたところ、体のバランスを崩してエスカレータ上を横転しながら転落した。	その他 の動力 運搬機	墜 落・ 転落			1000 ～ 9999
1999	7	11 ～ 12	航空機(乗員14名、乗客503名)が飛行中、ナイフを持った乗客の一人が、コクピット内に進入し乗員の首をナイフで刺した。	起因物 なし	その 他			1000 ～ 9999

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.html)に戻る。